

坂本龍馬展

江田島市 ふるさと交流館

- 期 間 : 2026年1月6日(火)～6月30日(火)
- 時 間 : 09:00～17:00
- 料 金 : 大人 300円 (中学生以上)
小人 150円 (小学生)
- 場 所 : 江田島市ふるさと交流館 2階 展示室
(江田島市江田島町中央1-3-10)
- 電 話 : 0823-43-1777
- 休 館 日 : 月曜日 (祝日の場合は翌日振替)

【資料提供】坂本龍馬子孫 坂本家十代目 坂本匡弘 様、高知県立坂本龍馬記念館 館長 吉村大様、高知県立歴史民俗資料館 館長 竹崎恵彦様、下関市立歴史博物館 館長 古城春樹様、hotel nansui 代表取締役 井口泰様、
(一社)全国龍馬社中 副会長・愛媛龍馬の会 顧問 大城戸圭一様

【企画・会場設営協力】(一社)全国龍馬社中 中国四国ブロック長 田中康弘 (題字揮毫)、元祖広島龍馬会 会長 佐野修
【主催】江田島市ふるさと交流館【共催】NPO法人古鷹フレンドシップクラブ江田島、平和記念資料館【後援】江田島市

2026年1月6日(火)～6月30日(火)

坂本龍馬展



江田島市

ふるさと交流館

激動の幕末、日本という国を洗濯しようとした坂本龍馬

本展示では、彼の声が聞こえきそうな貴重な手紙や写真のパネル展示、新政府の構想資料（一部レプリカ）などを揃え、第1章から第4章にわたって展開します。見どころは資料だけではなく。龍馬の生家跡に佇む「HOTEL NANSUI(旧南水)」に掲出されていた、彼のドラマチックな生き様を描いたイラストや肖像画、龍馬によって描かれたという「下関海戦図(複製)」掛軸、海難事故で沈んだ「いろは丸」に実際に積まれていた実物の石炭など、当時の息吹を感じる展示品が揃いました。

生誕190年。いま、この場所で、龍馬が夢見た未来を再発見してください。

龍馬の志、江田島の海に集う

坂本龍馬は、日本初の私設海軍といえる「海援隊」を組織し、近代海軍の礎を築いた「日本海軍の生みの親」の一人として知られています。その龍馬が夢見た海軍の精神を継承し、明治21年の移転以来、数多くの有為な人材を輩出してきたのが、ここ江田島の地（旧海軍兵学校・現海上自衛隊第1術科学校）です。本展示は、龍馬が蒔いた海軍の種が、この江田島で大樹へと育ったという歴史的な機縁により企画されました。坂本家十代目・坂本匡弘様をはじめ、龍馬を敬愛する多くの皆様との尊いご縁に支えられ、海軍ゆかりの地・江田島での開催が実現いたしました。

